

■優駿スプリント (SII) アラカルト (過去全 11 回の分析)

※第 1 回 (平成 23 年) から第 4 回 (平成 26 年) までは SIII として実施
※記録は令和 4 年 6 月 14 日時点

■上位人気馬の好走率はやや低め

単勝 1 番人気馬は 3 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 54.5%、単勝 2 番人気馬は 3 勝、2 着 3 回、3 着 0 回で、3 着内率が 54.5%、単勝 3 番人気馬は 0 勝、2 着 1 回、3 着 2 回で、3 着内率が 27.3%となっている。単勝 4 番人気以下の伏兵にもしっかり注目しておきたいレースだ。

■3 番人気以内の馬が 1~2 着を占めた例は 3 回

過去 11 回のうち 6 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 3 回あったものの、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着はまだない。

■浦和所属馬は未連対

所属別の勝利数を見ると、浦和が 0 勝、船橋が 3 勝、大井が 5 勝、川崎が 3 勝となっている。浦和所属馬は第 6 回 (平成 28 年) でビッグジャイアントが、第 9 回 (令和元年) でトーセンボルガが、第 11 回 (令和 3 年) でジョーロノが 3 着となったものの、2 着以内となった例はまだない。

■外国産馬は 2 勝、牝馬は 3 勝

外国産馬の優勝例は、第 5 回 (平成 27 年) のルックスザットキル、第 6 回 (平成 28 年) のエイシンヒートと、これまでに 2 例ある。また、牝馬の優勝例は、第 1 回 (平成 23 年) のミヤサンキューティ、第 2 回 (平成 24 年) のゴールドキャヴィア、第 3 回 (平成 25 年) のハードデイズナイトと、これまでに 3 例ある。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、御神本訓史騎手が2勝で単独トップとなっている。

■ 複数回の優勝経験がある調教師はまだいない

調教師別の勝利数を見ると、荒井朋弘調教師、稲益貴弘調教師、岩本洋調教師、内田勝義調教師、川島正行調教師、佐々木仁調教師、佐々木洋一調教師、鈴木啓之調教師、中村護調教師、張田京調教師、藤田輝信調教師が1勝でトップタイとなっている。

■ 7 枠と 8 枠は未だ優勝例なし

枠番別勝利数を見ると、3 枠（3 勝）が単独トップ。1 枠、4 枠、6 枠（各 2 勝）が 2 位タイとなっている。なお、7 枠と 8 枠は未勝利だ。また、馬番別勝利数を見ると、5 番と 11 番（各 2 勝）がトップタイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は 4 番、9 番、12 番、13 番、14 番、15 番、16 番である。